

# 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立藤松小学校】

1 実践テーマ	I <input checked="" type="radio"/> II <input type="radio"/> III <input type="radio"/> IV <input checked="" type="radio"/> V <input checked="" type="radio"/> (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	全学年(1～6年生・特別支援学級) 224名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名(体育・総合的な学習の時間・外国語) ② 行事名(学校行事) ③ その他( ) (2) 地域における活動 ① イベント名(ウェールズラグビー公開練習) ② その他( )
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国の人々の喜ぶことを自主的に計画したり、歓迎したりすることでおもてなしの心を育む。</li> <li>外国の人々とスポーツを通して交流することにより、スポーツのよさや楽しさを実感することができるようにする。</li> <li>ウェールズの選手の方の話を聞いたり、タイの小学生とスポーツ交流をしたりして、誰もが楽しめるスポーツについて自分の考えをもち、実践していこうとする心情を養う。</li> </ul>
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウェールズの選手との交流では選手たちを歓迎するために、ウェールズの国歌の練習を全校で取り組むことや、どのような国なのかをビデオなどを見るなどの学習をした。また、6年生は北九州のよいところを紹介するために、文を考えたり、英語でスピーチができるように練習したりした。</li> <li>ウェールズ選手との交流会では、全校児童で迎え、ウェールズ国歌を歌ったり、日本の伝統舞踊を披露したりすることでおもてなしの心を学んだ。また、ウェールズ選手の話を中心に聞いたりすることで、心の交流を図った。(写真1、2、3) 5、6年生においてはラグビー体験を選手と一緒にいき、どの児童も熱心に参加していた。(写真4)</li> <li>交流後ミクニワールドスタジアムの公開練習に5・6年生希望者参観した。ウェールズ代表のラグビー選手の練習の様子を見ることで団体競技の魅力やスポーツの楽しさを感じ取ることができるようにした。</li> <li>タイのプランサミット小学校との交流の中でドッジボールを行うなどのスポーツを通して、言葉の壁を越えて楽しんでいた。(写真5)</li> </ul>



写真1 歓迎の様子



写真2 日本の伝統舞踊の披露



写真3 ウェールズ選手に北九州を紹介する児童



写真4 ラグビー体験の様子

	 <p>写真5 タイの小学生とドッジボールをする様子</p>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ウェールズ選手との交流により、スポーツのよさや楽しさを実感することができた。</li> <li>• ウェールズの選手の方の話を聞いたり、タイの小学生とスポーツ交流をしたりして、体を動かすことやスポーツの楽しさについて実感することができた。</li> <li>• 実践前に比べて休み時間に外で遊ぶ児童の数が増えた。</li> <li>• 家庭でラグビーや野球などのスポーツ観戦をするなど興味をもつ児童が増えた。</li> <li>• ウェールズやタイの小学生の喜ぶ姿を見ることで、おもてなしの心の大切さやよさを学ぶことができた。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 藤松小学校伝統の日本舞踊を披露することにより、ウェールズ選手やタイの小学生と文化交流を行えるようにした。</li> <li>• タイプラサンミットの交流は昨年度から続けているので、昨年度の成果と課題を踏まえ、より実りのある交流になるよう事前に計画を立てた。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交流相手のことや相手国の文化などを事前に把握して計画する必要がある。</li> <li>• 実施内容を見直し、改善点などを含め次年度に引き継ぐための資料などを作成する。</li> </ul>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• タイプラサンミット小学校との交流の継続。</li> <li>• オリンピック・パラリンピック調べ(総合的な学習の時間)</li> <li>• オリンピック・パラリンピック全校児童テレビ観戦</li> <li>• 藤松小ミニオリンピックの実施</li> </ul>